

多麻河泊爾左良須氏豆久利佐良左良爾奈仁曾許能兒乃己許太可奈之伎  
 武藏野爾宇良徹可多也伎麻左氏爾毛乃良奴伎美我名宇良爾低爾家里  
 武藏野乃乎具奇我吉藝志多知和禮伊爾之與比欲利世呂爾安波奈布與  
 古非思家波素氏毛布良武乎牟射志野乃宇家良我波奈乃伊呂爾豆奈由米  
 或本歌曰伊可爾思氏古非波可伊毛爾武藏野乃宇家良我波奈乃伊呂爾低受安良牟  
 武藏野乃久佐波母呂武吉可毛可久毛伎美我麻爾末爾吾者余利爾思乎  
 伊利麻治能於保屋我波良能伊波爲都良比可婆奴流奴流和爾奈多要會禰  
 和我世故乎安杼可母伊波武牟射志野乃宇家良我波奈乃登吉奈伎母能乎  
 佐吉多萬能津爾乎流布禰乃可是乎伊多美都奈波多由登毛許登奈多延會禰  
 奈都蘇妣久宇奈比乎左之氏等夫登利乃伊多良武等會與阿我之多波倍思  
 右九首武藏國歌

【伊勢物語上】むかしむさしなる男京なる女のもとに聞ゆればはづかし聞えねばくるとかき  
 てうはがきにむさしあぶみとかきてをこせてのちおとせすなりにつれば京より女  
 むさしあぶみさすがにかけ頼むにはとはぬもつらしとふもうるさしとあるを見てもなん  
 たへがたき心あしける

とへばいふとは相ばうらむむさしあぶみかゝるをりにや人はしぬらん

【更科目記】今は武藏の國に成ぬ殊におかしき所も見えず濱もすなごしろくなどもなくこひち  
 のやうにて紫生ときく野もあし萩のみ高くおひて馬にのりて弓もたるする見えぬまで高く  
 生ひ茂て中をわけ行に竹芝といふ寺あり遙にいゝさらふといふ所のらうのあとのいしすへ  
 など有しかなる所ぞと問へば是は古へ竹芝といふさかなり國の人の有けるを火たきやのひ